

## 県内外への発信

### 政策デザイン 新企画が始動！

今年度、政策デザインの新たな取り組みとして始動した「政策デザインnavi study Sessions」。時代に応じた政策検討の観点を学ぶため、有識者を講師に招いた職員有志の勉強会です。初回は(株)akeruの大連氏を迎え、「採用」をテーマにお話いただきました。本年度中に第2回の開催も企画しています。



### 経産省WEBマガジンに 掲載



経済産業省WEBマガジン「METI Journal ONLINE」で10月に組まれたデザイン特集(全5回)の中で、本県政策デザインが取り上げられました。紹介されたのは、障がい者の幸せ就労を目指す「フクジョン！」プロジェクト。プロジェクトの拡がりとともに共感も生まれています。



↑経産省のHP

### 全国各地からの 視察・意見交換依頼

今年度もありがたいことに、全国各地から視察・意見交換の依頼をいただいています。これまで北海道庁、長野市役所、米沢市議会からお声かけいただき、県庁にて意見交換を実施。外からの目線で政策デザインを評価いただいています。これを励みに今後も地道な努力を重ねていきます。



長野市視察受け入れの様子

### もう見ましたよね？ 政策デザイン普及啓発動画



入門篇

全庁をあげての政策デザイン推進に向け、職員(特に管理職)向けの普及啓発動画を制作しました(R4年度)。入門篇(約2分)では政策デザインの定義・概念を簡潔に紹介、実績篇(約12分)では障がい者の幸せ就労を目指す「フクジョン！」の事例をデザイナーが分かりやすく解説しています。

ふくい政策デザインnavi  
発行元：福井県未来創造部未来戦略課  
0776(20)0759  
発行月：2023年12月

# ふくい政策デザイン navi

「行政マンが抱える悩みをデザイン思考で解決に導く」。

そんな「政策デザイン」という手法が、庁内のさまざまな部署で成果を上げています。

「ふくい政策デザインnavi」ではその活用事例や最新のトピックス、

導入の効果や活動の広がりなどをお伝えしていきます。



# 政策デザイン ミーティングを 開催

政策デザインミーティングは、知事・部長等と県内デザイナーが対話を通じ、一緒に政策を考えていくことを目的として開催しています。  
県の重点施策または新たに行政課題となれる分野で重要度の高いテーマについて、両者が直接意見交換することにより、政策デザインを上流部分から実施する最たる場となっています。

テーマ：自然に健康になれる運動・食生活環境づくり  
対象：県民  
担当：健康政策課

## 健康長寿に関する 政策デザインミーティング



10月6日、「健康寿命の延伸」をテーマに「政策デザインミーティング」が開催され、クリエイター3名と杉本知事が意見交換を行いました。「政策デザインミーティング」は県の重要課題をテーマに、クリエイターと知事が対話を通じて一緒に政策を考えていくことを目的として開催しており、政策デザインを上流部分から実施する場となっています。  
今回の政策デザインミーティングでは、運動や食生活改善に県民が意識せず取り組める仕組みづくりなどについてディスカッションしました。県の次期「元気な福井の健康づくり応援計画」では取組みにメリハリをつけ、運動では「歩行」、食生活では「減塩」を重要な要素としています。

これに基づき、クリエイターからは「惣菜の種類が豊富な福井のスーパーとの連携」など、身近にある新たな着眼点に関するアイデアが出されました。  
今後、計画改定の議論と合わせてアイデアを深掘りし、県民の行動変容につなげるべく形にしていきます。



# アウト プット 事例

政策デザインから  
生まれた事例を  
ご紹介します。

テーマ：里山の維持・発展  
対象：柿谷町

## 政策デザインで 住民を巻き込み、 意識を変える



福井新聞2面[R5.10.16掲載]

令和3年度に政策課題となった「里山の維持・発展」で議論の対象となった福井市柿谷町は、わずか6軒しかない小さな集落です。集落の存続・発展に向け、奮闘する自治会長、デザイナーとともに議論を重ねてきました。議論の中で、「集落の方が地域の長や宝を認識し、誇りをもつことが大事なのでは」という視点から、木々に囲まれ音の反響がいい地域特性を活かした「ハーブ演奏会」を企画。演奏会の開催を通して、集落の皆さんが活動に積極的に取り組むようになるなど、意識の変化も促しています。  
本事案は、未来戦略課が政策デザインの仕組みの中で地域の活動を応援。課題解決へとつなげています。

テーマ：ふくいポークの新たなコンセプトとロゴマーク  
対象：特に県民  
担当：中山間農業・畜産課

## “ふくいポーク”の 新たな顔づくり

3年半ぶりに復活したふくいポークの新ロゴマークとコピーづくりをお手伝いさせていただきました。一度途絶えてからの復活ストーリーを踏まえ、現場の声を聞く「課題リサーチ」で生産者と意見交換。県民にどう存在を示していくか激論を重ねてコンセプトを構築し、形にしました。



テーマ：地域鉄道の運転士確保  
対象：地域鉄道の運転士に興味がある、もしくは将来目指す可能性のある人  
担当：地域鉄道課

## 「公共交通 × デザイン」で 可能性を拡大！

喫緊の課題となっている「地域鉄道の運転士確保」のため、新たなPR素材を制作。「運転士になりませんか？」と訴えるのではなく、運転士キャリアとして「地域鉄道3社から選べる」ことを全体のキーに設定し、各社のカラー・役割を端的に表現。目に留まるビジュアルとデザインで仕上げ、既に広く活用されています。さらに福井鉄道の現役運転士に個別ヒアリングをするなど、運転士確保に向けた効果的な訴求方法について検討を進めています。

